

植樹式 2015



時の蘇生・柿の木プロジェクト

3月20日		ローマ・ラ・サピエンツァ大学 1 イタリア・ローマ県・ローマ市
3月30日		サンコノ小学校 2 イタリア・カターニャ県・サンコノ市
4月1日		公立公園（フィクツレ市） 3 イタリア・テルニ県・フィクツレ市
4月11日		ブレシアの丘公園 旧陸軍火薬庫跡地 4 イタリア・ブレシア県・セラティカ市
4月12日		バラックスレーン・コミュニティガーデン 5 イギリス・オックスフォード
5月11日		サン・ミケーレ・ディ・ガンツァリーア市小学校 6 イタリア・カターニャ県サン・ミケーレ・ディ・ガンツァリーア市
5月21日		ロンバークパーク植物園 7 ドイツ・ドルトムント
10月24日		ガッリ公園 8 イタリア・ミラノ県・ミラノ市
		サン・マルティーノ幼稚園 9 イタリア・ブレシア県・ブレシア市

ローマ・トレ大学 (ローマ・ラ・サピエンツァ大学)



イタリア



ローマ県・ローマ市



2015年3月20日



議会と、多年にわたり特に都市における、樹木の保護や自然を尊重する意義に関わる精力的な活動を行ってきた Respiro Verde (Green Breath) Legalberi 文化協会とが協力し、さらに R 協会は、市役所、議会およびラ・サピエンツァ大学を巻き込み、柿の木プロジェクトを実現しました。大学内の庭園は公共に開放された区域であり、3年ほど前から Respiro Verde Legalberi 協会がここでヒンドゥー教、仏教、ジャイナ教にとって非常に重要な意味を持つインド菩提樹の世話をし、「樹木の王に敬礼」という『儀式』を行っているそうです。柿の木は大学の東洋言語学部庭園内に植樹され、Respiro Verde Legalberi 協会が学生たちと協力してこの木の世話をしています。

サンコノ小学校



イタリア



カターニャ県・サンコノ市



2015年3月30日



サンコノ市の小学校で柿の木の植樹が行われました。

公立公園（フィクツレ市）

 イタリア

 テルニ県・フィクツレ市

 2015年4月1日



4月25日はイタリアの終戦（解放）記念日にあたります。

植樹式はこの日にフィクツレ村の公園で幼稚園の子どもたちと一緒に行われました。

子どもたちの平和へのメッセージを書いた旗が柿の木の周りに飾りつけられ、この日はTシャツも、旗も、ランタンも村中が柿の実と同じオレンジ色に染まりました。

申込者の一人、パオラさん（陶芸作家）による「平和の小道」も制作されました。事前に、村の人は誰でも粘土を持ち帰ることができ、それぞれの「平和の種」と呼ばれる小道のためのピースを作りました。

ブレシアの丘公園 旧陸軍火薬庫跡地

🇮🇹 イタリア



ブレシア県・セラティカ市



2015年4月11日

“ONLUS GNARI DÈ MOMPIÀ (グナーリ・デ・モンピア NPO)協会”と“BOBO ARCHETTI FONDAZIONE(ボボ・アルチェッティ財団)”は、環境保護と平和教育に取り組んでいる団体です。彼らの活動は、総面積 43.087.838m² のうち 4.475.332m² がブレシア市議会が管轄する地域に属する、“Parco delle Colline Bresciane” (ブレシアの丘公園) 内にある広大なモンピアーノ谷で行われています。モンピアーノ谷が始まる所には、旧陸軍の火薬庫があり、現在は市議会の所有となっています。米英の戦闘機が 1945 年 1 月 31 日にこの火薬庫を爆撃し、22 人の犠牲者が出ましたが、全て民間人であり、そのほとんどがブレシア北部の郊外であるモンピアーノの住民でした。現在、この旧火薬庫は一般公開されておりません。それは多くの建物で使われているアスベストを回収しなければならないからです。回収後は、市民のための平和の場として生まれ変わらせる計画です。

“ONLUS GNARI DÈ MOMPIÀ” と “BOBO ARCHETTI FONDAZIONE” は、谷を通る小道の終わりに建つ “Rifugio nella Valle di Mompiano” (モンピアーノ谷のシェルター) のすぐ外に柿の木を植樹しました。“ONLUS GNARI DÈ MOMPIÀ” 協会は、2002 年の設立後から、ブレシアの幼稚園から高校までの各学校と協力し、過去 12 年間に、何千人もの子どもたちがこの谷を訪れ、環境、自然、芸術、平和に関する活動を行うための基地としてこのシェルターを利用してきました。

4 月 11 日の植樹式には、今までここを訪れた学校と協力して、行われました。植樹場所は、海

抜約 300 メートルのシェルターが建っている空き地で、マデリーナ山の林の中にあり、“Parco delle Colline Bresciane” (ブレシアの丘公園) の敷地内です。両協会は、2014 年 6 月より、“ARTEVALLE (アルテヴァッレ (芸術谷)) ーどのよう自然の中に芸術を持ち込み、平和の場を投影するか” というプロジェクトを企画していますが、シェルターに通じる、火薬庫の脇を通る小道の周辺に設置された木製の芸術作品を通して平和のメッセージを発信するというものです。柿の木に関連するより芸術的で教育的なプロジェクトとしていくことで、柿の木により注目があつまるようにしていく計画です。



バラックスレーン・ コミュニティガーデン



イギリス



オックスフォード



2015年4月12日

4月12日にオックスフォードにあるコミュニティガーデンで植樹式が行われました。申込者のダニエルさんの呼びかけで、ガーデンを利用している地元住民とその子どもたちが集まりました。2015年は日本では戦後70周年ですが、イギリスでは「70 years since Victory over Japan Day」(対日戦勝記念70周年)にあたり、多くの方が参加をしてくださいました。また、第二次世界大戦時に日本の収容所で虐待を受けた兵士たちの遺族が中心となって活動している COFEPOW のメンバーにもご参加いただきました。

式典の前半は琴の演奏、詩の朗読、合唱団による歌の披露があり、後半はレイキ(白井甕男によって創設された霊気療法)のパフォーマンスによる植樹でした。オックスフォード・レイキ代表のアマの指導により、レイキの呼吸法で心身を整え、手をつなぎ、小石に柿の木への想い、平和への想いを込め、一人一人柿の木の周りに石を置いていきます。参加者は「美しい午後になった」「教会に行くのと同じか、それ以上に素晴らしい経験になった」と喜んでおり、大成功の植樹式となりました。



サン・ミケーレ・ディ・ ガンツァリア市小学校

🇮🇹 イタリア



カタールニャ県サン・ミケーレ・ディ・ガンツァリア市



2015年5月11日



サン・ミケーレ・ディ・ガンツァリア市はシシリア島内部に位置し、丘の斜面に点在しています。気候は極めて温暖です。本校は村の一番高い所に位置し、傾斜する中庭に囲まれています。柿の木の世話は、数人の教師たちが直接的に子ども達の作業を監督したり、このテーマに関連した教室での活動を通して、行われます。さらに、子どもたちの保護者でもある地元の農家の方たちが、実践から得た経験を用いて、子どもに植樹後の柿の木をうまく育てていく方法を教えてくれることになっています。

ロンバーグパーク植物園

 ドイツ

 ドルトムント

 2015年5月21日

ドイツのドルトムントには2000年に「ヒロシマ広場」が設置され、被爆したイチョウの木が植樹されています。また、福島の子どもたちが休暇を過ごせるよう援助するためのキャンペーンも行われているそうです。今回の植樹は、ドルトムントにあるロンバーグパーク植物公園で行われました。この公園はヨーロッパで最も大きな植物園の一つで、1820年にロンバーグ家によって作られた65ヘクタールもある広大な土地には珍しい木々やさまざまな種類の花が植えられています。5月21日に被爆柿の木2世はこの美しい公園の一角に植樹されました。申し込み者のマルグレットさんはドルトムントで平和運動を行っているグループに呼びかけてください、一緒に植樹式を行いました。



ガッリ公園

🇮🇹 イタリア

📍 ミラノ県・ミラノ市

🌱 2015年10月24日



ここでの柿の木プロジェクトは、ミラノ市議会、ミラノ第4地区議会ならびに、ディアローギング・アソシエーション、カリタス・フォルラニーニ、ノストラ・コムニタ協会を含む、地元数団体らの協力によって実現されました。また、地元の小学校と中学校の子どもたちも参加しました。2015年5月から10月までミラノで開催される国際展示会のエキスポ2015で展開される、平和と生物多様性という名の下での団結というアプローチをしました。2017年3月にはローマ教皇フランチェスコがガッリ公園をしました。

サン・マルティーノ幼稚園

🇮🇹 イタリア

📍 ブレシア県・ブレシア市

🌱 2015年

植樹申込者であるヴィスコンティ・セレナ・マヤさんが勤める幼稚園で、植樹10周年祭が行われたことをきっかけに、新設幼稚園に赴任したヴィスコンティ・セレナ・マヤさんは、そこでも同様の教育プログラムを行おうと柿の木プロジェクトの申込みをしてくださいました。その幼稚園の先生方の教育理念は、平和の意義は大変重要であり、平和というものが、日々の行動の中で育っていくのを教える上で、柿の木プロジェクトはとても良い機会と考えられました。柿の木は幼稚園の庭のとても良い場所に植えられました。今後も柿の木はこの学校の教育の大きな一部となっていくことになります。

